

もっと笑顔で、暮らせる明日へ。

aito

6

Jun 2021
No.315



フォークダンスで様々な交流を楽しむ

櫛引支所管内 菅原 邦夫さん(72)



私がフォークダンスを始めたきっかけは、若い頃、地域のサークル活動に参加したことでした。結婚後は離れた時期もありましたが、約20年前にハンガリーの舞踊団と交流があり、ホームステイなどの受け入れを経験して再びフォークダンスに触れるきっかけとなりました。11年前に櫛引地域でサークル「赤いくつ」を立ち上げ、現在は12人のメンバーで月に2回練習を行っています。

フォークダンスを通して外国の方とたくさん交流でき、様々な国を見るチャンスになりました。ダンスは、地域のお祭りや文化祭で披露しており、来年の7月に仙台市で開かれる大会に出場することが目標です。今後も、メンバーと一緒に楽しんでフォークダンスを続けていきたいです。



あいと
キッズ

健康でくすく元気に育ってね！

朝日支所管内 佐藤 安佐人くん(4)・沙空くん(4)

安佐人くんは、慎重な性格で周りをよく見てくれるお兄ちゃん。甘えん坊な一面もあり、家族を和ませてくれます。

元気いっぱい好奇心旺盛な沙空くんは車のおもちゃに夢中！トミカやクレーン車などが大好きです。

仲良し双子♪
2人で一緒に鬼ごっこして遊んでるよ！



ファミリーファーム



温海支所管内 五十嵐 一春さん(56)
永一郎さん(26)

複合型農業を未来へ繋げていく

(一春さん) 私は21歳の時に就農し、これまで父親が行っていた養豚業を継承しました。養豚の他、水稻とアスパラガスを栽培しております、複合的な経営を行っています。大雪や強風によって建物に被害を受け、大変な思いをした時期もありましたが、困難に出くわした時は色々なアイディアを出しながら乗り越えてきました。自分で生産したものをみんなに食べてもらい、おいしいと言ってもらうことをやりがいとしているので今後も引き続き息子と一緒に頑張っていきたいです。

(永一郎さん) 去年の4月から専業農家として就農しました。父が行う農業を学ぶため、大学卒業後は養豚に関する研修を3年間行ってきました。研修では、父の背中を追いかけ、豚の生育管理や出荷状況などを学びました。家業をしっかり受け継ぎ、みんなから引き継ぎおいしいと言ってもらうことが目標です。

庄農生トライ

食料生産科3年 佐藤 楓真さん 藤島



私の家は代々農家を営んでおり、現在は佐藤農園として法人化し40haの水稻を中心にエダマメ等の栽培も行っています。将来は、農家を継ぎたいと思い、庄内農業高等学

校に入学しました。高校では稻作の授業だけでなく、果樹や農業機械など様々な分野について理論と実践を兼ね備えた内容を学びました。

私は将来の為にも経営についてもっと深く勉強したいと思い現在、新潟食糧農業大学への進学を考えています。「農」「食」「ビジネス」について学びこれから時代の農業を支えていけるような人材になりたいと思います。

SHONOSETRY

農園を受け継ぐため経営を学びたい





Part.1

人の手で結実をお助け

開花が始まる4月下旬、部会による結実講習会が行われます。十分な結実を確保するためには人の手によって受粉を助ける作業がとても重要です。講習会では、毛ばたきを使用した人工受粉の手順を実技指導します。天候を見極めながらマメコバチなど訪花昆虫の活動が弱まる低温時と満開期に人工受粉を徹底し開花のタイミングを揃えていくことが大切です。



Part.2

すみずみまで園地巡回

受粉を終え、着果が始まると指導員による作柄調査が始まります。部会員の園地を巡回し、着果数のカウントと生育状況を丁寧に調査。2021年産は、病虫害や障害もなく十分な着果を確保しており順調に推移しました。高品質な仕上がりになるよう園地内の灌水と病害虫防除を行っていきます。



Part.3

ルビーのような赤色のひみつ

鮮やかな赤色が特徴のサクランボですが、この赤色を出すために徹底した着色管理がなされています。部会では着色管理講習会を開いており、果実の着色に重要な日光の入りを遮る葉の摘み取りや枝の誘引作業のポイントを生産者と確認し、宝石のように輝く艶と綺麗な色を引き出しています。



Part.4

いざ、出荷！

6月に入るといよいよ出荷。本格的な出荷に向け行うのが目揃え会です。指導員が詳細な出荷規格やギフト用化粧箱への詰め方などを説明し、生産者は規格に沿った出荷を行っていきます。JAでは、ギフト用取扱数量3㌧を計画し、おいしいサクランボを消費者へお届けします。出荷は7月中旬まで続きます。



赤くなってきた！



JAとの連携を密にしながら
「庄内産さくらんぼ」のブランド確立を全力で目指していきます。



JA販売係長 富権 進一郎
ふるさと納税品やインターネット販売に注力し、生産者と
JAとの連携を密にしながら、庄内産さくらんぼのブランド確立を全力で目指していきます。

父の代からサクランボの栽培を続けて約30年。主に桐箱入りブレミアムなどのギフト用のサクランボを生産しています。現在は、毎日園地に出向いて摘果や葉摘み作業などを実行しており、水捌けの良い傾斜のある地形を活用しながら高品質生産に努めています。2021年度も病害が高く大粒なサクランボを生産し、消費者の皆さんへお届けできるよう励んでいきます。



見て、知って、食べてけろ！

おらほのさくらんぼ

山形県といえば？と聞かれたらい一番に思い浮かぶ赤い宝石「サクランボ」

J A 庄内たがわ管内でもサクランボを盛んに生産しています。

現在、さくらんぼ部会員82人が合計15.5㌶の園地で栽培し、

ギフト用や家庭用などで地元や関東市場に出荷しています。



さくらんぼ部会役員
本間 正さん・すみさん
(羽黒地域) 栽培面積15㌶

サクランボ、着果良好

インターネットショッピングやふるさと納税返礼品などで販売するギフト用サクランボの取扱い目標3ヶ月達成に向けJAさくらんぼ部会は5月20日、JA羽黒支所分析センターで販売取扱会議を開いた。

2021年産の生育状況は、3月中旬～4月の融雪が早く、晴天が続いたことから20年産より約1週間早い生育で推移している。全体的に着果状況は良好で、収穫最盛期は「佐藤錦」が6月下旬、「紅秀峰」が7月初旬を見込んでいる。同部会は今後、高品質生産に向け、雨除けテントの被覆や着色管理などを行っていく。会議後は安全祈願祭が併せて行われ、サクランボの有利販売と農作業中の事故防止を祈念した。



芽かきのポイントを学び生育揃える

J A櫛引支所ぶどう部会は5月7日、ブドウの新梢の生育をそろえ、樹勢を調節するため鶴岡市櫛引地域にある「デラウェア」「シャインマスカット」の各園地で芽かき講習会を開いた。部会員約30人が参加し、デラウェアは生育時期に合わせ不要な芽や副芽を除去し、適宜灌水を実施することを学んだ。シャインマスカットは芽座に2本新梢を残すことを目安に陰芽をかき取り伸長を促す他、開花期から満開期まで房の支梗を除去し整形する無核処理を行うこととした。この作業は、展葉期を迎える5月上旬に行われる。

同部会は今後、8月上旬の収穫期に向け、生育ステージに合わせた栽培管理の講習会を開く予定だ。



山形大学農学部とJAが共同授業

J Aは5月17日、山形大学農学部アグリサイエンスコースで、JA組織概要やJA庄内たがわの概要などについて説明を行う共同授業を実施した。この取り組みは、学生に地域の「食」と「農」への理解を深めてもらい視野を広げてもらうことを目的にし、学生の感性や感想に触れ新たな活動の糸口を見つけることが狙いだ。

J Aの本間章浩総務部次長兼総務課長が講師となり、出席した学生ら約20人へ講義。地域活性化や耕作放棄地、地産地消、販売流通などについて質問が出され、実施している内容を説明した。今後、JA女性部と山形大学農学部が連携し、学生たちに食農体験を実施する計画を組んでいる。



デラウェア、花粉の顕鏡で適期を見極める

ブドウ生産が盛んな鶴岡市櫛引地域で5月17日、ブドウ「デラウェア」の無核化を目的とするジベレリン処理を行う際の適期を判定する顕鏡を実施した。JA櫛引支所ぶどう部会の部会員約30人が新梢を持ち寄り、県庄内総合支庁農業技術普及課の担当者とJA園芸特産指導員がジベレリン処理の適期を調査。検体となる新梢は、正確な判定を行うため、目安とする樹から部会員が毎年採取している。種枝の先端から2番目の新梢で、第1果房から下方に葉が3枚あるものを対象としている。

2021年産の花粉形成は順調に推移しており、顕鏡の結果、5月22日頃には各園地でジベレリン処理を行った。



地域とJAを結ぶネットワーク 各地の話題を追って

JA NEWS

掲載記事の詳細はホームページに掲載しております



御田植祭で五穀豊穣を祈願

自然の恵みと神の恩恵に感謝し、清新な気持ちで米づくりに取り組もうとJAは5月27日、鶴岡市羽黒町にある出羽三山神社で御田植祭を行った。三神合祭殿で神事を執り行い、2021年度の五穀豊穣を祈願した。御田植祭15年目となる今年は丑歳御縁年の奉祝の年にあたり縁起の良い年回りである。

この日は、JAの生産組合長会会長と役職員ら約10人が出席。例年、大鳥居の隣に設けた献饌田で行っていたが、20年度に引き続き新型コロナウイルス感染症予防の観点から出席者の人数を制限して行われた。

宮司が神事を執り行い、献饌田に植栽される「つや姫」の苗に祈祷を捧げた。今後、17.2haの献饌田で栽培管理し、今秋行う予定の抜穂祭で関係者らが収穫する。収穫した米は、11月に行われる同神社の新嘗祭や、年間の祭典・御神事などで大神様へ御供えされる。



女性の力で庄内柿生産振興へつなげる

女性目線での気づきやアイデアを活かして産地形成を進めていくこうとJA庄内柿生産組織連絡協議会は5月28日、鶴岡市羽黒地域で女性生産者向けの庄内柿摘蕾講習会を開いた。庄内柿アグリアドバイザー（熟練生産者）の齋藤裕志さんとJA営農販売部の園芸特産指導員が講師となり、参加した約40人に摘蕾作業のポイントや今後の栽培管理を説明。肥大期に備え1結果枝1蕾を基本にし、肥大時に果実が接触しないよう蕾同士の間隔を空けて摘蕾を行うことと呼び掛けた。

同協議会では今後、園地の乾燥を防ぐため、朝晩の灌水や摘果作業に向けた病害虫防除に努め、大玉生産を目指していく。



サトイモ「大和早生」に品種統一を図る

丸い形状が特徴的で高単価が望める「大和早生」を主力的に生産を図ろうとJA里芋部会は2021年産から大和早生への品種統一に取り組んでいる。手作業や専用機械での毛羽取りがスムーズに行えるため、作業効率向上と労力軽減を期待している。

J Aでは、21年産から新規生産者が5人増えたことから収量約5tの増加を見込んでおり、品種統一により少ない作業量で高所得を確保することを大きな狙いとして有利販売につなげていく。部会長の丸山真太郎さんは「品種統一に併せて2L～3Lサイズのサトイモを生産していくことが重要。8月は肥大期に入るため、圃場の灌水を徹底すること」と話した。





講習会実施

JA営農販売部の園芸特産課は5月20日、羽黒支所で新規作付け者を対象にした加工用ニラの栽培講習会を開いた。約10人が参加し、定植前の圃場管理や栽培のポイントなどを確認した。定植2年目以降農家手取りは10%あたり約31万が見込めます。

圃場管理

〈排水対策〉溝切りや畝立てを行い、排水不良とならないよう注意する。

〈土壤pH調整〉pHが6.5を目指す。pHが5.0を下回ると生育に悪影響が出るので注意する。

〈作土深〉作土深は出来るだけ深く、深層までよく耕耘し十分な土作り、根量の確保を行う。



○印溝切部分



刈取作業

春刈りでは一斉収穫とならないよう葉先刈りを行い、生育を調節し、春刈りと秋刈りを区分して長期収穫を目指していく。

バラ出荷も可能で、長期間に渡り出荷が可能なので気軽に始められます。

集荷されたニラは、大手中華チェーン店にも出されており多くの皆様のお口に入っています!!

信用 Q&A

Q 妻が使用する自動車の購入を考えているのですが、私（夫）名義でマイカーローンを借りることはできるでしょうか？

また、カー用品店でカーナビも購入しようと考えているのですが、マイカーローンを利用できますか？

A JAのマイカーローンは、ご本人だけでなく、同居のご家族名義の自動車購入の場合もご利用対象となります。自動車購入と別にご購入されるカー用品もお借入に含めることができます。

また、運転免許の取得費用や点検修理、車検費用、カーポート設置費用のほか、他金融

機関でお借入中のマイカーローンの借換えなど、様々な用途をご利用いただくことができます。特に「残価設定型クレジット」をお考えの方には、低金利でお得なJAマイカーローンをおすすめします！！

なお、当JAホームページではネット事前審査（仮審査）が可能となっております。ぜひご利用ください。

詳しい商品内容、ご利用条件については、当JAホームページ、または各支所融資窓口までお気軽にお問い合わせください。



園芸特集

加工ニラの栽培を始めてみませんか？

スプレー菊、出荷スタート

庄内町にあるJA花き集出荷施設では、5月24日からスプレー菊の出荷がスタートし、色とりどりのスプレー菊が続々集荷されている。同JAは、花形や花色などバリエーションの豊富さが強みであり、市場からの引き合いが強く、これから迎えるお盆などの需要期へ向けて出荷が盛んになっていく。2021年産は、出荷量60万本を目標に東北・関東市場へ12月下旬まで出荷していく予定。



田植え配信で他組合と交流

広大な庄内平野で生産される「庄内米」の魅力を発信しようと、生活協同組合バルシステム埼玉の職員が5月20日、庄内町を訪れ、産直ネットワークメンバーである生産者とJA職員らの田植えの様子を取材した。2021年度はコロナ禍の対応としてインターネット配信を実施。

田植え方法をカメラに向かい説明後、化成肥料などを削減した「つや姫エコ・チャレンジ米」の苗を水田に手植えした。



女性部で育てた苗の生育を確認

JA女性部温海支部は5月27日、鶴岡市のJA温海支所で女性部員へ配布する落花生とマリーゴールドの苗の生育確認を行った。参加した女性部員5人は、芽が出ていないものを取り除き、配布個数と適した袋の大きさを確認しながら元気に育つ苗を目の前に和気あいあいと

作業を進めた。役員らは「収穫時期が楽しみ」と笑顔で語った。苗は部員145人に配布され、家庭で畑に植え栽培を楽しむ。



鶴岡市長がキュウリ団地を視察

庄内地方で有数のキュウリ産地である鶴岡市櫛引地域で、同市の皆川治市長らが5月28日、JA櫛引支所に設置されたキュウリ画像選果機と同地域のキュウリ団地の視察を行った。皆川市長は、キュウリ画像選果機が実際に稼働する様子や選果の流れを熱心に観察し、キュウリ

団地の現場視察では、実際にハウスの中に入り、生育状況や作業現状について生産者の声に耳を傾けた。



のびのび育ってね！

鶴岡市羽黒地域にある標高約350mの月山高原牧場で5月13日、繁殖用和牛の入牧と牛の健康と成長を祈る安全祈願祭が開かれた。繁殖促進や牛の強健な体質作りと、農家の労力軽減や畜産経営の安定化を図ることが目的で、体重や体高測定、健康状態確認の後、約100頭の牧草地に放された。

今年は約180頭の和牛・乳牛が入牧し、健康検査を実施しながら10月の下牧までの成長を見守る。



孟宗の缶詰加工はじまる

JA農産加工技術研修施設で5月6日、春の味覚である孟宗と月山筍などの缶詰加工が始まった。利用者が家庭で孟宗を水煮にし、灰汁抜き処理したもの同加工所に持ち込み、缶に詰める。その後、JA生活シーダーが缶に水を入れ消毒処理を行い、長期保存できるよう圧力

鍋で仕上げした後、翌日利用者へ返却する。6日は約30人が利用し、273缶が作られた。同加工所では6月下旬まで受け入れる予定。



「心の声」

6月といえば梅雨。雨の日の過ごし方は?

私の雨の日の過ごし方は、録画したドラマやバエティ番組をのんびり見ます。なるべくじっくり見たいので、飲み物や食べ物を準備してテレビの前から離れません。K・Yさん【朝日】

雨の日は時の流れがスローペースです。自分の中では雨も良しです。新聞や広報を丁寧に読み、たまに「脳トレ」の投稿、で溜まったそれらを整理整顿。「後回しにしてた家事に着手」些細な事でもスッキリ、coffeeも格別旨し。E・Hさん【新余日】

静かに降る雨は嫌いではなく、ゆっくり図書館で本を探したり、じっくりと読んだり、調べものしたりして過ごすのが好きです。ゆっくり珈琲入れるものも良いですよ。S・Nさん【櫛引】

前は雨が続くと地域で「御祈祈正月」といって休みになり、神主さんにお祓いしてもらって神酒をくみかわし、明日は晴れる事を祈っていました。今は、雨除け、傘ができ、雨が降っても傷いていることが多くなった。前のように前に注「御祈祈正月」したい!

M・Sさん【鶴岡市】
Y・Sさん【鶴岡市】
冷たい物を食べてゆっくりします。隙間器具はアヒル脚物。

新しいコートを買って雨の日テクション上げるように過ごします。M・Kさん【鶴岡市】

2005年12月25日に私は倒れてしまいました。幸い大学2年だった息子によって発見してもらつて現在に至っています。4回の手術、4回の病院によつてなんとか生きる事ができました。
「酒田短歌会」「三川短歌会」「俳句の会」「油絵」「日本画」「筋トレ(ゆきくり)コース」「コーラス」によつてなんとか頑張っております。五月雨(さみだれ)の音が一番落ち着きます。しっかり頑張ります。S・Tさん【三川】

お菓子作り。ホットケーキミックスで、クリッキー やバウンドケーキを作ります。安い材料で簡単に美味しい出できます。インスタネットにたくさんの方のレシピが載っています。E・Kさん【酒田市】
コロナ禍の雨となれば外出も控えます。懸賞応募が大好きな私は応募の方法のハガキを書き続けます。M・Tさん【新潟県】

6月=梅雨ニネガティブ
私はそれを逆手にとつて雨の日は自分の時間に音読なんだ本を引つ張り出して読みたり、私たまり、新聞を隅から隅まで丁寧に読みたり、ラジオをじっくり聴いたり、そうするとボジョイブな自分になってしまいます。S・Mさん【新潟県】



JUN 2021
No.315

発行／庄内たがわ農業協同組合 〒999-7611
山形県鶴岡市上藤島字櫻中下3-1 TEL.0235-61-3000
電子メール tagawa@ja-taionomi.jp
印刷／庄内農業協同組合連合会



ホームページ
Twitter
Instagram

皆川 菜芳さん(21) 消黒支所管内

地元で看護師として働いています。休日は、小説や漫画家を読んだり、妹とショッピングをして楽しんでいます。